



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirane/>

白根のまち・・・ここはふるさと

校長 海老澤 孝代

令和4年度は、新しく策定した学校目標「Shine かがやこう! Rainbow にじいろのえがお Nexus つながる白根」の実現に向け取り組んでまいりました。コロナ禍ではありましたが、たてわり班活動の活性化、ペア・グループ学習の増加など少しずつ子どもたち同士の関わりが増え教育活動が充実し、地域とのつながりも深まった一年となりました。

先日、旭北地区まちぐるみ福祉推進会議に参加しました。私たちの描く地区の未来図「人にやさしく、包みあうまち」を目指し、1月25日に行われた『あいさつ運動』や次世代の地域の担い手育成などについて話し合われていました。6年生の総合的な学習の取組や5・6年生のジュニアボランティア活動、中学生が参加した総合防災訓練などについて話題に上がり、地域の人たちと小中学生と一緒に、まちの未来を考えていく機会を増やしていきたいという意見が出されていました。子どもたちは地域の人とつながることで視点を広げ、自分たちにできることがあるのではないか、白根のまちのためにやってみたくて意欲が高まっていますし、地域の方からも期待されているということが分かりました。

3月17日卒業証書授与式。地域に目を向けた活動を進めてきた6年生108名に卒業証書を手渡します。地域の現状を把握して地域の方と一緒に活動し、一人一人自分にできることを考えて行動できたことに自信をもって、中学校に進んでいってほしいです。

横浜市では来年度から進めていく「第4期横浜市教育振興基本計画」の中で、『視点2「みんなの計画・みんなで実現」学校と地域、企業やNPOなど、子どもの成長に関わるみんなの力を結集して、みんなではまっ子を育みます。』としています。白根小学校も引き続き全力で教育活動を進めてまいります。子どもたちにとって、白根のまちはふるさと。子どもたちの学びのために、そして伸びゆく成長のために、今後とも変わらぬご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

★横浜どこでもスタディ



横浜市では、コロナ不安やその他、様々な理由や事情で学校に登校できない児童生徒の学習保障と支援のために、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる『横浜どこでもスタディ』という取組を進めています。白根小学校でも従来より、オンライン授業を受けるにあたっては、事前に保護者の同意やオンライン授業のための環境状況などを確認し、状況に応じて丁寧に対応してきました。来年度以降も『横浜どこでもスタディ』として、オンラインでの授業配信、ロイロノートでの提出物・作品などの成果物の共有等をこれまで同様に進めてまいります。